

道本清一郎

みちもと
せいいちろう

ドイツ文學翻譯家。生没年不詳。

譯書、スウエン・ヘデイン著『獨逸への回想』(昭和十六年四月十五日青年書房)、フランケ・カールゼン他作『獨逸從軍作家集』(昭和十六年十月二十日洛陽書院)、エルザイン・ベルツ著『武士道の眞體』(昭和十七年十月五日奈良・天理時報社)、エルクスト・ゲンカウト著『永遠の貌』(昭和十七年十月二十五日興風館)、ヴェルナー・マールホルツ著『獨逸新浪漫派序説』(昭和十七年十一月十五日興風館)、フリーゴオ・ライヒテントリット著『樂聖シヨパン傳』(昭和十八年四月十五日淡海堂出版株式會社)、リオン・フォイヒトワンガー著『ソビエト紀行』(昭和二十一年八月五日クラレ社)、ハンズ・アラダ作『グスターパー家』(昭和二十一年十月八日南北書園)、A・L・ウオルインスキ著『カラマーゾフの世界ードストエフスキイ作品研究』(昭和二十一年十一月十日安藝書房)、ヘルマン・リヒター作『シヨパン』(道本清一名、昭和二十四年五月二十日クラレ社)等。